

平成21年度
事業報告書

財団法人エイズ予防財団

I 総務報告

1 理事会

(1) 第45回理事会

日 時：平成21年4月13日（月）16時00分～17時00分

会 場：結核予防会会議室

議 案：平成21年度事業計画承認の件
平成21年度収支予算承認の件

(2) 第46回理事会

日 時：平成21年6月24日（水）11時00分～12時30分

会 場：結核予防会会議室

議 案：平成20年度事業報告承認の件
平成20年度決算承認の件
最初の評議員の選任方法承認の件
最初の評議員選定委員会の設置・運営規則承認の件
最初の評議員選定委員会委員選任の件

(3) 第47回理事会

日 時：平成22年3月26日（金）10時00分～12時20分

会 場：九段会館「錦鶏の間」

議 案：平成19年度・20年度決算の修正承認の件
平成21年度収支補正予算承認の件
平成22年度事業計画承認の件
平成22年度収支予算承認の件
評議員選任の件
会長、副会長、理事長、専務理事の互選の件
評議員選定委員会委員の選任の件
新法人における最初の評議員候補者推薦の件
事務局の組織及び運営規程改定の件
個人情報保護規程制定の件

2 評議員会

(1) 第45回評議員会

日 時：平成21年4月13日（月）16時00分～17時00分

会 場：結核予防会会議室

議 案：平成21年度事業計画同意の件
平成21年度収支予算同意の件

(2) 第46回評議員会（書面表決）

書面表決の日：平成21年5月19日（火）

議 案：理事選任に関する件

(3) 第47回評議員会

日 時：平成21年6月24日（水）11時00分～12時30分

会 場：結核予防会会議室

議 案：平成20年度事業報告同意の件
平成20年度決算同意の件

(4) 第48回評議員会

日 時：平成22年3月26日（金）10時00分～12時20分

会 場：九段会館「錦鶏の間」

議 案：平成19年度・20年度決算の修正同意の件
平成21年度収支補正予算同意の件
平成22年度事業計画同意の件
平成22年度収支予算同意の件
役員選任の件
新法人における最初の評議員候補者推薦の件

3 エイズ予防財団の今後に関する意見交換会

(1) 第1回

日 時：平成21年9月17日（木）16時00分～18時00分

会 場：結核予防会会議室

内 容：新公益法人制度、公益認定について
新たに定める定款に記載する目的、事業等について

(2) 第2回

日 時：平成21年10月8日（木）16時00分～18時00分

会 場：結核予防会会議室

内 容：新たに定める定款に記載する目的、事業等について

4 公開セッション『エイズ予防財団はどう変わるのか』－新法人化に向けて－

(HIV/エイズの啓発とエイズ予防財団の今後の役割)

(1) 第23回日本エイズ学会学術集会・総会での公開セッション

日 時：平成21年11月27日（金）11時50分～12時50分

会 場：名古屋市 名古屋国際会議場・プレゼンスペース

参加者：約70名

(2) コミュニティセンターaktaでの公開セッション

日 時：平成22年2月20日（土）18時00分～20時00分

会 場：新宿区 コミュニティセンターakta

参加者：約20名

Ⅱ 事業報告

1 情報収集・提供事業（一般会計）

11月26日（木）～28日（土）に名古屋国際会議場で開催された第23回日本エイズ学会学術集会・総会を後援するとともに、職員を派遣して情報の収集に努めた。

2 国際会議等事業（一般会計）

(1) アジア太平洋地域エイズソサエティ（ASAP）への参加

第9回アジア・太平洋地域エイズ国際会議が8月9日（日）～13日（木）にバリ島（インドネシア）で開催されたが、この会議の主権団体であるアジア太平洋地域エイズソサエティ（ASAP）に会員として参加、アジア・太平洋地域との情報交換を行った。

(2) 国際研修生の受け入れ

国際協力機構（JICA）事業によりわが国に研修に来ている外国人研修生を受け入れ、わが国のHIV感染症とその予防対策の状況、財団の概要などの講義を行った。

① JICA「地域母子保健強化」Aコース（沖縄県看護協会受け入れ）

6月12日（金） 南米の母子保健専門家12名

② JICA「地域格差是正のための保健行政システム改善」

9月18日（金） アフリカ地域（ケニア、タンザニア、スーダンなど）8名

③ JICA「地域母子保健強化」コース（沖縄県看護協会受け入れ）

11月5日（木） 東南アジア地域母子保健専門家11名

④ JICA「HIV/AIDSケアサービス管理展開プロジェクト」カウンターパート研修

11月18日（木） ザンビア 2名

⑤ JICA「地域母子保健強化」Bコース（沖縄県看護協会受け入れ）

2月16日（火） アフリカ諸国（アンゴラ、ニジェール、タンザニアなど）11名

3 ティーンエイジャー支援事業（一般会計）

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社からの寄付を受けて、高校生・中学生を中心とするティーンエイジャーを対象としたHIV／エイズ予防啓発活動で、①ティーンエイジャー自身が参画する活動、②ティーンエイジャーを指導・支援する人たちによる育成活動への資金助成を実施した。

実施に当たり、選考委員会を開催して助成団体を決定するとともに、団体間のネット

ワーク作りやモニタリング委員会による各団体へのモニタリング評価を行った。

平成21年度助成対象一覧

| 団体名 | プロジェクト名 | 助成金額 |
|-------------------------------|---------------------------------|------------|
| IWATE：生と性及びエイズ教育を考える会（通称：LSA） | ティーンエージャーと教師がともに進める「生と性・AIDS教育」 | 700,000円 |
| プロジェクト コネクト | 学校を中心としたHIV感染予防プロジェクト | 1,000,000円 |
| 神奈川性・エイズ教育実践研究会 | 第15回高校生エイズフォーラム | 854,018円 |
| ピアっ子あいち | FACE TO AIDS | 473,200円 |
| NPO 法人えんばわめんと堺/ES | 10代の性・生をともに考えるワークショップ | 503,000円 |

4 大阪HIV検査センター支援事業（一般会計）

ブリストル・マイヤーズ株式会社からの寄付金及び米国ブリストル・マイヤーズ・スクイブ基金からの助成金を受けて、大阪検査相談・啓発・支援センター（chot CASTなんば）を開設し、同センターを大阪府・大阪市に提供することにより、HIV検査・相談等の事業を支援している。

また、今年度からこの施設において、啓発教育、カウンセリング、研修のプログラムをNGO等とともに実施している。

開設日：週4回（日曜、火曜、金曜、土曜）※平成21年10月から土曜日は休止

平成21年度稼働日数：156日

HIV検査受検者数：4,728名（うちHIV陽性者数26名）

5 日本エイズストップ基金の運営（日本エイズストップ基金特別会計）

エイズ対策に関する募金活動、チャリティ事業及び個人の寄付等の金銭的支援の受け皿として設置された日本エイズストップ基金の運営を行った。

(1) 第17回日本エイズストップ基金運営委員会

日 時：平成21年8月7日（金）14時00分～16時00分

場 所：エイズ予防財団会議室

議 事：平成20年度収支報告、平成21年度基金配分について

委 員：山本直樹・栗山昌子・小坂善治郎・田中好子（欠）・中村 博

(2) 助成事業・助成先（計15件 5,980,000円）

① エイズ患者・HIV感染者に対する社会的支援事業

| | | |
|---|------------------------|----------|
| 1 | NPO法人動くゲイとレズビアンのか（アカー） | 400,000円 |
| 2 | 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス | 400,000円 |
| 3 | ライフ・エイズ・プロジェクト（LAP） | 400,000円 |
| 4 | NPO法人レッドリボンさっぽろ | 380,000円 |

② エイズ患者・HIV感染者等に対する電話相談事業

| | | |
|---|---------------------|----------|
| 1 | NPO法人AIDSネットワーク横浜 | 400,000円 |
| 2 | 人権と共生を考えるエイズワーカーズ福岡 | 400,000円 |
| 3 | せかんどかみんぐあうと | 400,000円 |
| 4 | NPO法人りょうちゃんず | 400,000円 |

③ エイズ予防啓発事業

| | | |
|---|-----------------------|----------|
| 1 | NPO法人現代美術研究会 | 400,000円 |
| 2 | HIV人権ネットワーク沖縄 | 400,000円 |
| 3 | NPO法人在日中国人医師協会 | 400,000円 |
| 4 | NPO法人ティーンズサポート | 400,000円 |
| 5 | NPO法人魅惑的倶楽部 | 400,000円 |
| 6 | 早稲田大学公認イベント企画サークルqoon | 400,000円 |
| 7 | wAds2009実行委員会 | 400,000円 |

(3) 普及啓発及びチャリティイベント事業

① 「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2009」でエイズ予防啓発

高校生ロックバンド選手権「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2009」本選大会において、主催者であるひたちなか青年会議所などの協力によりエイズ予防啓発のリーフレットなどを配布した。

日 時：平成21年4月26日（日）

場 所：国営ひたち海浜公園（茨城県ひたちなか市）

参加者：高校生等約15,000名

② 第58回日本医学検査学会（ケンサEXPO'09）での啓発

第58回日本医学検査学会（ケンサEXPO'09）において、アボットジャパン(株)が
出展したエイズ関連ブースを支援し、HIV検査等の普及活動を実施した。

日 時：平成21年7月31日（金）～8月1日（土）

場 所：パシフィコ横浜（横浜市）

③ アシエット婦人画報社との協力事業

同社の発行する月刊メンズクラブでエイズ予防に関する記事の編集に協力した。
6月号～12月号で7名の著名人によるエイズ予防啓発とチャリティオークション
のページが掲載され、チャリティとして1,756,130円の寄付を受けた。

④ リーバイ・ストラウス ジャパン(株)との協力事業

同社の実施する「Forever Blue」キャンペーンに協力した。個人の愛用してい
たジーンズ約13,000本をリーバイスのストアが引き取り、フリーマーケットやチ
ャリティオークション等で販売、2,191,734円の寄付を受けた。

⑤ アボットジャパン(株)との協力事業

同社の協力を得て、HIV検査促進を訴える中吊り広告を掲出した。

路 線：札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡各地のJR線

掲出期間：世界エイズデーの前後（11月下旬～12月上旬）

⑥ エイズチャリティ美術展でのエイズ予防啓発と募金活動

ハートアートコミュニケーションズの実施するチャリティ美術展において、エ
イズ予防啓発と募金活動を実施した。

実施期間：平成22年1月21日（木）～2月1日（月）

募金額：412,839円

⑦ アリコジャパン及び同全国代理店会連合会との協力事業

同社の全面的な支援を受け、年間を通してエイズ予防啓発パンフレットの個人
（家庭）や法人への配布など、エイズ予防啓発と寄付活動を展開した。22,281,095
円の寄付を受けた。

⑧ 地域イベント等の普及啓発と募金活動

地域で行われている祭りや催事等にブースを設置し、パンフレット等の配布を
行い、併せて募金活動を実施した。

「物江民夫リサイタル」(東京芸術劇場、5月) / 「水戸神輿祭り」(茨城県水戸市、8月) / 京都府理容組合「理容競技会」(9月) / 「STOP AIDS! ロシュ・サンスターチャリティ古本市」(東京都港区、10月) / 「9thアール・エスポワールチャリティ美術展」(世田谷美術館、12月) / 「浜松オートレース場」(静岡県浜松市、11～12月) / 「ゴールデンチャイルドBOXING (金子ボクシングジム協力)」(東京都文京区後楽園ホール、4/19、6/16、9/10、12/9、2/8、3/26) ほか

6 水道橋三崎町クリニックの運営 (水道橋三崎町クリニック特別会計)

水道橋三崎町クリニックにおいて夜間や休日に診療を行うとともに、HIV検査受検促進を目的とし、HIV、B型肝炎、梅毒の即日検査を実施した。

なお、同クリニックは、財政上の問題から運営継続が困難と判断し、休止した。受診者に対しては周知を徹底し、休止に至る状況の理解を得るとともに、他院への紹介を行った。関係機関等に連絡のうえ、診療、検査は平成21年6月まで実施の後、平成21年8月19日(水)に千代田保健所に廃業届を提出し、受理された。

平成21年4月から6月までの来院者数は延べ181名、うちHIV検査受検者数は99名であった。

7 エイズ予防対策事業 (厚生労働省委託費)

(1) 血液凝固異常症実態調査事業

血液製剤を通じてHIVに感染した血友病患者を中心に、血液凝固異常症の病態を把握し、治療の向上と生活の質の向上に寄与することを目的として、血液凝固異常症患者を治療している全国の医療機関で調査を実施した。

6月26日(金)に1,362施設、1,500担当医等に調査票を送付し、664施設、750担当医等から回答を得た。

報告書を各医療機関の担当医・患者等に提供し、調査結果をフィードバックすることにより患者の治療とQOLの向上を図っている。

実施に当たり財団内に運営委員会を設置し、精度及び専門性の確保を図っている。

① 第1回運営委員会

日 時：平成21年5月20日(水) 15時00分～17時00分

場 所：結核予防会会議室

議 事：平成21年度の調査方法、高年齢の症例数の取り扱いについて

② 第2回運営委員会

日 時：平成22年3月3日（水）15時00分～17時00分

場 所：結核予防会会議室

議 事：調査票の回収状況、同意の取得状況、報告書について

(2) HIV感染者等保健福祉相談事業

① エイズ治療中核拠点病院相談事業

平成18年度に創設されたエイズ治療中核拠点病院に相談員を配置し、HIV感染者・患者等への心理的援助を行った。

(ア) 医療機関（25機関）

岩手医科大学病院／大館市立総合病院／群馬大学病院／都立駒込病院／東京慈恵医大病院／横浜市立病院／新潟大学病院／三重医科大学病院／岐阜医科大学病院／豊橋市民病院／福井医科大学病院／市立堺病院／兵庫医科大学病院／京都大学病院／奈良医科大学病院／滋賀医科大学病院／島根大学病院／高知大学病院／産業医科大学病院／長崎大学病院／佐賀大学病院／県立宮崎病院／熊本大学病院／鹿児島大学病院／琉球大学病院

(イ) 相談員連絡協議会の開催

相談の精度確保及び均てん化を図るため、ブロック拠点病院カウンセラーを招き、全国の相談員が一同に集まり、情報・意見交換を行った。

日 時：平成21年12月12日（土）

場 所：東京都

参加者：23名

② HIV検査・相談事業

HIV検査受検者数の拡大を図るため、休日、夜間等利便性に配慮した検査・相談を実施した。

(ア) 定期的なHIV検査を6地域において実施した。

札幌市／さいたま市／千代田区／横浜市／大阪市／長崎市

(イ) HIV検査週間や世界エイズデーに合わせ、臨時のHIV検査を10回実施した。うち1回は水道橋三崎町クリニックにて実施した。

③ 専門相談員による電話相談

財団内に電話相談室を設置し、専門相談員による電話相談をフリーダイヤルで実施した（開設時間は月曜から金曜までの毎日、午前10時から午後1時、午後2時

から5時まで)。

また、相談員の研鑽のための内部研修を7月18日(土)に実施した。検査、精神科医療の専門家を招き、専門的な知識を学ぶとともに、事例検討を通して電話相談の役割を検討した。

- ④ 電話自動応答システム(JFAPエイズサポートライン)により、8カ国語でのエイズ予防情報の提供を行った。システムは東京、神戸、福岡に設置している。なお、福岡は平成22年2月で終了した。

(3) ボランティア指導者育成事業

エイズNGO活動におけるリーダー養成のため、NGO指導者研修会を開催した。今年度は、より積極的なボランティア活動を展開するための資金調達に重点を置いた。

なお、各NGOの相互理解、情報共有及び交流を図るため、プログラムの一部は通訳研修会(相談員養成研修事業)と合同で実施した。

日 時：平成22年2月27日(土)～28日(日)

場 所：東京都

参加者：23名

(4) 相談員養成研修事業

HIV感染症・エイズに関する相談体制の質の向上、量的充実を図るため、相談員養成研修会を実施した。

- ① エイズ予防・ケア研修会(入門編)

日 時：平成21年7月2日(木)～3日(金)

場 所：東京都

参加者：95名

- ② HIV検査・相談研修会(応用編)

日 時：平成21年8月27日(木)～28日(金)

場 所：東京都

参加者：35名

- ③ エイズ予防・ケア研修会(入門編)

日 時：平成21年10月3日(土)～4日(日)

場 所：金沢市

参加者：50名

- ④ HIV検査・相談研修会(基礎編)

日 時：平成21年11月5日（木）～6日（金）

場 所：大阪市

参加者：45名

⑤ ケア合同研修会（応用編）

日 時：平成22年1月21日（木）～22日（金）

場 所：東京都

参加者：72名

⑥ 通訳研修会

日 時：平成22年2月27日（土）～28日（日）

場 所：東京都

参加者：13名

(5) エイズ治療拠点病院医療従事者海外実地研修事業

エイズ治療の拠点病院における診療能力の向上及びHIV／エイズ診療のリーダー的役割を担う人材の育成を図るため、エイズ診療の経験豊富な海外医療機関に医療従事者を派遣し、臨床実地研修を実施した。

① ロサンゼルス

南カリフォルニア大学ケック医学部

(7)日 程：11月7日（土）～22日（日）

参加者：医師等（中・上級者）1名

(4)日 程：1月30日（土）～2月14日（日）

参加者：医師等（中・上級者）1名

② サンフランシスコ（医師コース）

カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校

日 程：10月24日（土）～11月8日（日）

参加者：医師等（初・中級者）5名

③ サンフランシスコ（看護師コース）

カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校

(7)日 程：12月5日（土）～20日（日）

参加者：看護師等3名

(4)日 程：1月16日（土）～30日（日）

参加者：看護師等4名

(6) エイズ治療拠点病院地域別病院長会議開催事業

エイズ治療拠点病院の整備状況、今後の拠点病院の在り方等について意見交換を実施するため、厚生労働省で開催された「中央運営協議会」に合わせて、エイズ治療ブロック拠点病院長会議を開催した。

日 時：平成22年3月9日（火）16時30分～17時30分

場 所：日比谷松本楼（千代田区日比谷公園）

(7) HIV診療医師情報網支援事業

HIV感染症の臨床医等による交流等の連携を図るため各ブロックに情報網を設置し、症例検討会、講演会、ネットワーク紙の発行を実施した。

支援先：① 東北HIV診療支援ネット

② HIV感染症の医療体制構築を目指すネットワーク（新潟）

③ 東海ブロックエイズ診療拠点病院連絡協議会

④ 北陸HIV臨床談話会

⑤ 関西HIV臨床カンファレンス

⑥ 岡山HIV診療ネットワーク

⑦ 九州ブロックエイズ診療ネットワーク会議

(8) エイズ国際会議研究者等派遣事業

平成21年8月9日～13日にバリ島（インドネシア）で開催された第9回アジア・太平洋地域エイズ国際会議への研究者、NGO、医療従事者等の派遣を助成し、各国参加者との意見交換及びエイズに関する最新の知見を得させることにより、エイズ対策の広範な充実、活性化を図った。

また、会場内にブースを出展し、日本のエイズの現状とエイズ対策、NPO・NGO等の活動の取り組み等の情報提供を行った。

派遣人数：24名

(9) エイズ国際協力計画推進事業

平成6年度から20年度までの間、結核予防会結核研究所と連携してアジア地域のエイズ専門家を日本に招き、「アジア地域エイズ専門家研修」を実施したが、これら研修生へのインタビューなどを通じて、この研修の評価と、今後の国際協力のありかたを探った。

① タイ、カンボジア、ラオス、ベトナム、ミャンマー：

平成22年2月7日（日）～15日（月）

② フィリピン：平成22年3月10日（水）～13日（土）

③ インド、スリランカ：平成22年3月7日（日）～13日（土）

(10) エイズ知識啓発普及事業

① 「世界エイズデー」ポスターコンクール

全国の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒及び一般を対象に、HIV予防を呼びかけるポスターコンクールを実施し、受賞作品はAPI-Net（エイズ予防情報ネット）で公表するとともに、「世界エイズデー」イベント会場においてパネル展示した。

募集期間：平成21年6月22日（月）～9月3日（木）

応募総数：375点

受賞作品：24点

(ア) 第1次審査会

日 時：平成21年9月17日（木）13時30分～16時00分

場 所：結核予防会会議室

(イ) 本審査会

日 時：平成21年10月2日（金）14時00分～16時00分

場 所：家の光会館

(ロ) 表彰式

日 時：平成21年11月20日（金）15時30分～16時00分

場 所：結核予防会会議室

② 「HIV検査普及週間」（6月1日～7日）の啓発普及事業

(ア) キャンペーンイベントにおけるブースでの啓発活動

「RED RIBBON LIVE 2009 Spring ～HIV検査に行こう！～」

開催日：平成21年5月31日（日）17時00分～20時00分

会 場：SHIBUYA-AX（渋谷区神南）

主 催：厚生労働省

参加者：約500人

内 容：会場内にブースを設置し、来場者への啓発を行った。

(イ) 街頭キャンペーンの実施

HIV検査普及週間の告知と保健所等でのHIV無料・匿名検査実施の告知を目的とし、自治体、NGO、学生ボランティア等の協力を得て街頭キャンペーンを実施した。

実施日：平成21年5月31日（日）14時00分～16時00分

実施場所：渋谷駅ハチ公前周辺

参加者数：約40名

配布物：予防啓発グッズ等 1,710セット

※3,200セット配布予定だったが大雨により途中終了

(ウ) HIV検査普及週間前後の期間に各自治体で実施されるイベントやHIV検査・相談の実施体制等について情報収集し、API-Netで公開した。

(エ) HIV検査普及週間のポスターを（社）ACジャパンの協力を得て作成し、各自治体等を通じて全国で掲示した。

ポスター名：「検査に行くということ（TERU）」

③「世界エイズデー」（12月1日）の啓発普及事業

(7) 街頭キャンペーンの実施

世界エイズデーの告知と保健所等でのHIV無料・匿名検査実施の告知を目的とし、学生ボランティア等の協力を得て街頭キャンペーンを実施した。

(I) 大阪での街頭キャンペーン

アメリカ村三角公園（御津公園）での「レッドリボンライブ」に合わせて、公園周辺にてNGO、ボランティア、民間企業と協力してエイズ予防啓発グッズ・パンフレット等約1,000セットを配布した。

実施日：平成21年11月23日（月・祝）13時00分～17時00分

(II) 東京での街頭キャンペーン

渋谷駅周辺において、NGO、ボランティアと協力してエイズ予防啓発グッズ・パンフレット等約3,200セットを配布した。

実施日：平成21年11月28日（土）12時00分～15時00分

(i) 世界エイズデー・キャンペーンイベントの実施

「RED RIBBON LIVE 2009」の会場に展示ブースを設置して来場者への啓発を図るとともに、エイズ予防啓発グッズ・パンフレット等を配布した。また、世界エイズデーポスターコンクールの入賞作品を展示した。

実施日：平成21年11月28日（土）17時30分～21時00分

(ii) インターネット等による啓発と情報提供

世界エイズデー前後の期間に各自治体で実施されるイベントやHIV検査・相談の実施体制等について情報収集し、API-Netで公開した。

(エ) 交通広告による啓発普及

京浜急行電鉄と連携し、電車内・駅構内での広告やラッピング電車など、交通広告等による啓発活動を展開した。11月29日（日）から12月13日（日）まで8両1編成電車が成田－羽田空港－三崎口間で走ったほか、京急線全車両に車内ポスターを、京急線全駅・京急関連施設にHIV感染症予防啓発ポスターを掲出した。また、12月1日（火）からは京急線羽田空港駅でエイズ予防のポスターやフラッグを集中的に掲示し、啓発普及を図った。

(オ) 世界エイズデーにあわせポスターを作成し、全国の自治体に送付した。

(カ) 若者向け雑誌の特集

11月25日（水）発行の『Tokyo graffiti』誌に「世界エイズデー」特集を掲載し、エイズ関連のNGOで活躍する若手スタッフの何人かに焦点を当て紹介するとともに、広く若者にエイズに対する関心をもつようアピールした。

(キ) 国連合同エイズ計画（UNAIDS）発行の冊子の翻訳と配布

UNAIDSが世界エイズデー直前に出版した次の2点の出版物について、UNAIDSの許諾の下、日本語に翻訳、発行した。これらの冊子は、HIV/AIDSに取り組む関係諸機関（エイズ治療拠点病院、NGO、都道府県エイズ担当課、国際協力団体など）に無料提供するとともに、API-Netに公開した。

(I) 「09 HIV/AIDS最新情報」（原題：09 AIDS epidemic update）

内容：例年、12月1日の世界エイズデーの直前にUNAIDSから発表されるHIV/AIDSの最新情報

(II) 「OUTLOOK」（HIV/エイズ対策の展望2010）（原題：OUTLOOK）

内容：上記「HIV/AIDS最新情報」の内容をより具体的に気軽に手にとって読めるような内容にした雑誌

④ 早稲田大学生向け啓発キャンペーンの実施

早稲田大学の協力により、入学式の4月1日（火）に早稲田キャンパスにおいて新入生に啓発グッズ1,200セットを配布した。また、4月2日（水）から18日（土）にかけて、在校生の健康診断会場（早稲田キャンパス・西早稲田キャンパス・所沢キャンパス）において啓発グッズ約14,000セットを配布した。

⑤ 小冊子・リーフレット・啓発グッズの作成・配布

エイズ予防のパンフレット等を作成し、自治体等に配布した。また、提供できるパンフレット、啓発グッズをAPI-Netに公開し、自治体等からの要請に応じるシ

システムを立ち上げた。

- ⑥ 海外渡航者向けの小冊子を作成し、全国の空港等に設置して海外渡航者に配布した。

- ⑦ エイズNGO情報の発信

全国のHIV感染症／エイズ予防活動に取り組むNGOの情報を収集し、API-Net上にて発信した。

掲載NGO数：110団体

- ⑧ 講師の派遣

HIV感染症／エイズに関する知識の啓発普及等のため、行政機関、団体、学校等に講師として職員を派遣した。

東京エイズサミット2009（早稲田大学公認イベントサークルqoon）／大東文化大学／はばたき福祉事業団／長崎大学等

- ⑨ 日本エイズ学会学術集会・総会の会場にブースを展示して啓発普及を図った。

- (11) エイズ予防情報センター事業

「エイズ予防情報ネット（API-Net）」を運営し、エイズ患者・感染者やその家族、一般国民、医療関係者等に対し、エイズに関する啓発情報、HIV検査情報、NGO活動情報等をホームページで情報提供を行った。

- ・「HIV検査・相談窓口」等の情報サービスの実施

全国の保健所における検査日時や場所、予約の方法、電話相談等についての情報提供（定期更新）を行った。

- ・サイトの再構築

利用者のより一層の利便性の向上を図るため、エイズ予防情報ネットの再構成や各種検索機能の搭載を行うとともに、デザインも一新した。

アクセス件数：343,330件

- (12) 青少年エイズ対策事業

青少年を対象とする、科学的根拠に基づいたエイズ予防事業の実施を目的に、①保健所のエイズ対策担当者、②小学校・中学校・高等学校の教師（保健室の養護教諭等）を対象とした研修会を実施した。

- ① 保健所プロジェクト

日 時：平成21年7月22日（水）、23日（木）

場 所：京都ガーデンパレス

参加者数：20保健所21名

②保健室プロジェクト

中学校用研修会

日 時：平成21年8月25日（火）

場 所：京都大学百周年時計台記念館

高等学校用研修会

日 時：平成21年8月18日（火）

場 所：京都大学百周年時計台記念館

参加校数：78校（中学校43校、高等学校35校）

参加者数：90名（中学校48名、高等学校42名）

(13) エイズ治療啓発普及事業

エイズ治療に関する最新の情報を整理・提供し、エイズに対する差別・偏見の軽減に寄与するため、次の事業を実施した。

- ・エイズリポートの発行

HIV/エイズ対策に係る人々の情報交換ツールとして、自治体、エイズ治療拠点病院、研究者、NGO等に配布した。

年4回発行：84号（4月）、85号（7月）、86号（10月）、87号（1月）

8 同性愛者等に対するHIV／エイズ予防対策事業（厚生労働省委託費）

同性愛者に対して、エイズに関する正しい知識の普及、予防行動やHIV検査受検行動の促進を図るため、HIV／エイズに関する情報提供を行うコミュニティセンターの設置・運営及び同性愛者向けのエイズ予防啓発事業を実施した。

(1) 連絡協議会の設置

事業活動の方針を協議し、事業の目的に沿った運営を行うための連絡協議会を設置し、協議を行った。

① 日 時：平成21年6月13日（土）12時30分～14時00分

場 所：名古屋市立大学看護学部会議室

② 日 時：平成22年3月13日（土）12時00分～14時30分

場 所：エイズ予防財団会議室

(2) コミュニティセンターの設置・運営

エイズ予防対策事業の一環として平成20年度までに開設していた、東京（akta）、

名古屋(rise)、大阪 (dista)、福岡 (haco) の各コミュニティセンターについて、財団とそれぞれの運営実施団体との役割、責任等を再確認し、運営体制の強化を図った。

仙台市 (ZEL) 及び那覇市 (mabui) のコミュニティセンター開設に当たっては、地元NGOの協力が得られ、場所の選定からセンターの運営コンセプトにいたるまで、地域の実情に即したものとすることができた。

また、管理・運営体制を強化するために、akta、dista、hacoにおいてそれぞれ新規の職員を、その他センターでは賃金職員を雇用した。

(3) 予防啓発研修会の実施

MSMのためのHIV予防啓発に特化した研修会を実施

(4) 各地のイベントでの参加

各地域で行われる同性愛者を主な対象とするイベントに参加し、HIV感染症／エイズ予防を呼びかけた。

(ア) 東京プライドフェスティバル

日 時：平成21年5月23日 (土)

場 所：代々木公園

内 容：ブース出展による啓発活動

(イ) レインボーマーチ札幌

日 時：平成21年9月21日 (月・祝)

場 所：札幌市大通公園

内 容：ブース出展と地元NGOとの共同による啓発活動

(ウ) 大阪PLuS+2009

日 時：平成21年10月11日 (日)

場 所：大阪市扇町公園

内 容：ブース出展、資材提供による啓発活動

(5) その他

厚生労働省の主催するHIV/AIDSの対策に関する東南アジア行政官会議 (東京、平成22年2月4日 (木)・5日(金)) において、わが国の同性愛者等向けHIV感染症／エイズ予防活動の一例として、本コミュニティセンター事業の紹介を行った。

9 エイズ対策研究推進事業 (厚生労働科学研究費補助金)

(1) エイズ対策研究推進事業運営委員会

日 時：平成22年3月24日（火）

会 場：結核予防会会議室

内 容：平成22年度事業応募申請の採択等について

(2) 外国人研究者招へい事業

- ・招へい人数 2名
- ・招へい内訳（国別） 米国 2名

(3) 外国の研究機関等への委託事業

- ・委託件数 1件
- ・委託内訳（国別） 米国 1件

(4) 若手研究者育成活用事業（リサーチ・レジデント）

- ・人数 72名
- 国立感染症研究所等研究機関（21機関） 33名
- ブロック拠点病院等（10機関） 39名

(5) 研究成果等普及啓発事業

- ・研究成果発表会（国民向け）

開催回数 18件（42回）

<テーマ>

- ① エイズとエイズリンパ腫治療の最前線 2回
- ② 在日外国人HIV陽性者療養支援について 3回
- ③ 慢性疾患としてHIV／エイズ治療の問題点と展望 2回
- ④ HIV陽性者の社会生活と地域における支援環境 1回
- ⑤ 男性同性間のHIV感染対策とその介入効果啓発普及に関する成果発表 3回
- ⑥ MSM向けHIV感染対策の推進と評価に関する研究 1回
- ⑦ 東京地域における男性同性間のHIV感染対策とその介入効果に関する研究成果（Rainbow Ringの活動紹介および啓発資材の展示） 2回
- ⑧ 保健、医療サービスへのアクセスと医療倫理 1回
- ⑨ 日本のエイズー全国インターネット調査から見た性的指向と健康問題 3回
- ⑩ わが国におけるHIV感染症～周産期・小児期～予防と対策 3回
- ⑪ 地方公共団体－NPO連携によるHIV対策－検査事業の普及－ 3回
- ⑫ MSM対象のワークショップ型普及啓発－予防行動・受検行動の促進－ 2回
- ⑬ セックスワーカーのいるまち2009 3回

- ⑭ Sexual Live for Women 2009 3回
- ⑮ 滞日外国人と性の健康 3回
- ⑯ HIV/AIDS患者の在宅療養支援 1回
- ⑰ HIV感染者に対するカウンセリング体制の現状と今後の課題 2回
- ⑱ HIV診療支援ネットワークの現状と次期システムに求められるもの 3回

10 エイズ予防のための戦略研究事業（厚生労働科学研究費補助金）

研究課題：首都圏及び阪神圏の男性同性愛者を対象とした介入試験

研究リーダー：名古屋市立大学看護学部 教授 市川誠一

(1) 研究要旨

エイズ予防のための戦略研究は、HIV検査を2倍に増加させ、エイズ発症患者を25%減少させることを目標としている。この主目標を受けて、首都圏及び阪神圏に居住するMSM（男性と性的接触を有する男性）を対象に介入試験を行い、どのようなHIV検査促進啓発普及プログラムが、HIV検査件数の増加、AIDS発症者の抑制を図るために有効であるかを検討した。この戦略研究は、平成18年度から5年間の研究として開始され、平成21年度は4年目である。

(2) 研究方法

研究計画に基づき、啓発、検査、相談、評価調査のための研究体制の調整と構築を進めつつ、首都圏及び阪神圏において、1) HIV抗体検査受検行動を促進するための啓発資材・プログラムの開発と普及、2) HIV抗体検査の整備と拡大、3) 相談体制の整備－HIV検査で陽性が判明した患者への受診支援の整備等－、4) 評価調査体制の整備と調査の実施を行った。

※研究課題2「都市在住者を対象としたHIV新規感染者及びAIDS発症者を減少させるための効果的な広報戦略の開発」は平成20年度で中止となった。

(3) 委員会の開催

第5回倫理審査委員会（平成21年4月30日）：結核予防会会議室

第9回運営委員会（平成21年6月29日）：結核予防会会議室

第10回運営委員会（平成22年3月8日）：東京逓信病院会議室

第7回流動研究員選考委員会（平成22年3月8日）：東京逓信病院会議室

11 その他事業（一般会計）

出版社等の発行する小冊子、リーフレット等の監修を行い、監修名義を付与した。

自治体・企業・団体等が主催するHIV感染症／エイズに関する講演会、チャリティイベント等に後援名義を付与した。